

令和8年度 学校経営方針等について

種子 和憲

1 学校経営の基本理念

「児童、保護者・地域住民、教職員が大切にされ、
みんなが成長する学校づくり」

「夢」の実現に向けて思いを込めて歩むとき、
「願い」の実現に向けて力を尽くして歩むとき
「成功」に向けて全身全霊で努力を続けるとき
我々は、一人の人間として、大きく成長できる。

人生において「成功」は約束されていない。
しかし、
人生において「成長」は約束されている。

田坂広志 著「未来に拓く君たちへ」より

2 学校経営の基本方針

日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、学習指導要領の趣旨、県の学校教育の指導の方針と重点、三八教育事務所の学校教育の指導の方針と重点ならびに八戸市教育委員会学校教育指導の方針と重点をふまえ、「教育は人づくり」という視点に立って、全教職員の力を結集するとともに、保護者や地域と連携と信頼を大切にして教育活動を推進する。

3 めざす学校像

～みんなが生き生きしている学校～

※みんな(児童、保護者・地域住民、教職員)

- 楽校・・・学ぶ楽しさを実感できる学校
- 合校・・・心と力を合わせる学校

4 めざす児童像

- めあてをもって学ぶ子
- 相手のことを思いやる子
- じょうぶな体をつくる子

5 めざす教職員像

- 教育への情熱と児童への愛情をもつ教職員
- 自ら学び、人間力・指導力・授業力を向上させる教職員
- 同僚生を高め、チームとして協働する教職員
- 働き方改革のめざすところを理解し、積極的に取り組む教職員

6 教育目標(長期目標)

「かしこく やさしく たくましく」

7 努力目標(中期目標)

- めあてをもって学ぶ子
- 相手のことを思いやる子
- じょうぶな体をつくる子

8 学校目標(令和8年度の短期目標)

今の俺より
今の俺より
すぐれた人間を一人は知っている
それは 未来の俺
長生きさせたいな
この俺を

「よりよい自分に成長しようとする児童の育成」

キャッチフレーズ



「成長するぞう！」



学校目標設定の理由

令和7年度は、「根岸戦隊 かわるんジャー ON！」をキャッチフレーズに、学校目標「アウトプットする力を伸ばし互いに認め励まし合える児童の育成」をめざして全教職員が一丸となって教育活動を進めたことで、知育面では、相手を意識して「聴く・話す」という態度が育ってきた。徳育では、道徳科や特別活動を中心とした児童主体の活動により、言動に気を付ける児童が増えてきた。体育では、多様な運動をする場や健康意識を高める機会の工夫によって、運動に親しむ児童が増えるとともに、怪我等の減少等につながった。

しかし、不登校傾向及び不適応児童の増加や交友関係におけるトラブル等は懸念されるところであり、場に応じた言動や相手意識をもって行動ができるような判断力を高めていく必要性を感じている。そのために、一人一人のよさを発揮させるとともに、よりよい人間関係を築いていく力を高めていくことが重要であると考えます。

そこで、今年度は学校目標を「よりよい自分に成長しようとする児童の育成」とし、知・徳・体の調和のとれた児童の育成をめざし、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改革、褒める・認める・励ますことによる自己肯定感の醸成、子ども同士のつながりを大切にした教育活動の実践、家庭との連携による生活習慣づくり、地域のよさを実感する場づくり等に取り組む。あらゆる教育活動において、「児童に自他の成長を実感させる」ことによって、自尊感情や自己有用感を高めるとともに、他者への思いやりの心を育て、よりよい人間関係を構築できる力を高めていきたいと考えている。

- 重点施策① 心の成長を実感する居場所・絆づくり
- 重点施策② 学びの成長を実感する授業づくり
- 重点施策③ 健やかな心身の成長を実感する生活習慣づくり
- 重点施策④ 地域のよさを実感する場づくり

8 学校目標具現化のための施策

(1) 心の成長を実感する居場所づくり・絆づくり

① 一人一人のよさと可能性を認め合う学級づくり

・褒める、認める、励ます(教師の基本スタンス)ことにより児童の自己肯定感を高める

② 特別な配慮(不登校傾向、支援・配慮)を必要とする児童への組織的な対応

・担任はもちろんのこと、担任以外との意図的な関わりの検討

③ 縦割り活動や特別活動等による子ども同士のつながりの深化

・目的意識をもたせ、価値ある活動をとおして自他のよさに気付かせる。

④ 「あいさつ・言葉遣い・物の使い方」の意識化

・自分も相手も気持ちよくなるあいさつ(校内で友達へ、先生へ、来客へ。校外で地域の方へ。)返事(伝わる返事)、言葉遣い(～さん、ありがとう)を励行する。

・みんなの学校という意識のもと、きまりを守り安全な生活に心がけさせる。

・自分もみんなもよいという意識を育てるために、後始末や掃除等を励行する。

⑤ 思いやりの心の育成

・「自分がされて、言われていやなことは、他の人にしない、言わない」

④のあいさつと⑤を根岸小学校のスタンダードとして努力していきたい。

(2) 学びの成長を実感する授業づくり

① 「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくり

・主体的・対話的で深い学びの視点での授業改革

・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

・校内研修の充実

・1人1台端末の効果的な利用

(3) 健やかな心身の成長を実感する生活習慣づくり

① 体力づくりの推進

② 健康的な生活習慣の形成

・基本的な生活習慣、傷病予防に関わる指導の実施(すこやかタイム等)

・家庭と連携した心身の健康を育む学習(学校保健委員会、メディアコントロールへの取組)

(4) 地域を実感する場づくり

- ① 地域学校連携協議会(コミュニティ・スクール)
 - ・年3回の情報交換の実施
- ② 地域の教育力を生かした教育ボランティア活動
 - ・図書ボランティア、登校安全指導、学習支援
- ③ 主体的に地域に関わる教育活動
 - ・地域への奉仕活動(クリーン大作戦等)
 - ・地域について調べ伝える活動の実施
 - ・地域の行事や祭りへの参加の励行
- ④ 地域の方からの話を聞く機会や校内掲示場所の設置
 - ・地域の教育力を生かした活動において、全校の行事や学年の学習の中に地域の方から話を聞く機会を設ける

(5) 特別支援教育の充実

- ① 特別な支援を要する児童の把握と個に応じた指導
 - ・全教職員で情報交換、校内支援委員会(特別支援推進委員会等)の実施
 - ・個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成
- ② 特別支援学級と協力学級・学年との連携
 - ・綿密な情報交換
 - ・共生社会への理解促進等

(6) 安全・安心な環境

- ① 「命を守る」を最優先に
 - ・子どもの命を守ることを最優先にした対応(危機管理、感染症、安全管理、いじめ、虐待)
- ② 交通事故を防ぐ安全教育、災害に備えた避難訓練、防災教育の実施
 - ・ねらいをもって、真剣に取り組ませる交通安全教室、避難訓練、防災教室